



令和 6年 1月 1日

発行: 山田宏よい国後援会機関紙



激動と変革の「甲辰」の年 自衛隊を 憲法に明記を!

新年おめでとございませう。今年「甲辰(きのえ・たつ)」の年。「甲」は植物の殻を被った芽が発芽する象形文字で、「辰」は手偏をつける「振」、雨冠をつける「震」となるように、「甲辰」の年は激動の中で新しい時代の芽が芽吹くが、古い時代の固い殻も残り苦勞する年となります。

60年前の昭和39(1964)年の「甲辰」も激動と変革の年でした。日本特殊鋼の倒産をはじめ前年から続く不況の中で企業倒産が相次ぎ、全日本労働総同盟が発足するなど労働運動も活発化しました。一方、「ひかり」が世界最速の時速210キロを記録して東海道新幹線が開業し、東京オリンピックが開催されホテルや警備業など新たなビジネスの芽も生まれました。中国が原爆実験を実施し世界の新しいパワーとして出現。またわが国では池田勇人氏から佐藤栄作氏に首相が交代、公明党が結党されました。

今年、1月に台湾の総統選挙、4月に韓国の総選挙、11月には米大統領選挙があり、わが国でも9月に自民党総裁選挙が予定され、それらの結果次第では台湾周辺や朝鮮半島、東シナ海や南シナ海など東アジアで新しい動きがあるかもしれません。

『日本のチカラ』研究会

歴史上わが国で大きな国家変革が行われたのは、必ずわが国周辺の大きな環境変化、とりわけ国の安全が脅かされるような危機的事態が原因となってきました。例えば、朝鮮半島で唐・新羅連合軍に敗れた663年の白村江の戦いが原因となり中央集権の律令国家に向かい、欧米による植民地化の危機から徳川幕府が倒れて明治の近代国家が成立し、そして大東亜戦争の敗戦で今日の日本が誕生しました。

今後、中国や北朝鮮やロシアの動きでわが国の安全保障環境が脅かされるとき、わが国が今のままの国家のありようで独立を保つことができるのか。自力の防衛力、同盟関係を張り巡らせる賢い外交力、それらを支える強い経済力、そして国家の正しい意思決定の基盤となる情報力。それら『日本のチカラ』を根本から再構築をする国家ビジョンとそれを実現していく信念の政治が急務です。12月に高市早苗氏を中心とした『日本のチカラ』研究会が高市経済安全保障相

『研究会』が発足したのも、そういった危機感からです。

まず国防。そして憲法改正を!

戦後見て見ぬふりをしてきた「国家としての日本」を取り戻せるか。これがこれからのわが国の運命を決する最も大事な政治のテーマです。そして周辺から迫る国家的な危機に「自らの力で自らを守る」国として雄々しく立ち上がれるかが喫緊の課題です。

一昨年12月岸田首相は、防衛費を5年間で倍増してNATO諸国並みのGDP比2%の水準まで引き上げることを決意しました。習近平主席が4期目を迎える2027年までに、中国が「台湾併合」を強行する可能性を考えると、この2、3年はわが国にとって正念場になります。

相手に手を出させないだけの抑止力は、防衛力の担う自衛隊員を支える国民の絶大な承認があつてこそ初めて成り立ちます。これまで政府は、国際法上は自衛隊を「軍隊」としながらも、国内では憲法上の制約から自衛隊は「通常の軍隊ではない」と誤魔化してきました。しかし

それでは自衛隊が全力で防衛の任務に当たることなどできません。今年は一日も早く自衛隊を憲法に明記して、自衛隊を国家として正式に承認をすべきです。

高市氏が勉強会 総裁選意識か



自民党の高市経済安全保障相(以下高市氏)は15日、国力増強をテーマにした勉強会「日本のチカラ」研究会を設立し、国会内で初会合を開いた。来年の党総裁選をにらんだ足場作りと、党内の見方が出てくる。内閣支持率が低迷する中で高市氏の動きには批判の声もある。

「閣僚として不適切」批判も

人が出席した。議員連盟として今後も定期的に会合を開く予定だ。この日は、インテリジェンス(情報収集・分析)について有識者の講演を聞き、質疑を行った。高市氏は総裁選について「また戦わせていた」と出馬に意欲を示している。無派閥の高市氏は党内基盤が弱く、勉強会を通じて党内保守派の支持を広げたいとの思惑が透けて見える。高市氏は2021年の総裁選で安倍晋三・元首相の支援を受けた。安倍氏が死去したことで後ろ盾を失い「焦りがあるのではないか」(中堅)との指摘もある。

勉強会出席者

安倍派	堀井学衆院議員(内閣府副大臣)、杉田水脈衆院議員、山田宏参院議員
麻生派	山本左近衆院議員、有村治子参院議員
茂木派	小野田紀美参院議員
二階派	高木宏寿衆院議員(復興副大臣)
森山派	鬼木誠衆院議員
無派閥	石川昭政衆院議員(デジタル兼内閣府副大臣)、土井亨衆院議員、黄川田仁志衆院議員、三谷英弘衆院議員

※高市経済安全保障相を除く

拉致被害者帰国の「時間的制約」について問う

「拉致問題特別委員会」での山田質問

「親世代がいなくなってきたから、被害者が帰国しても北朝鮮には猛烈な怒りしか残らない」

昨年11月26日に開催された「拉致被害者の即時一括帰国を求める国民大集会」で、家族会の横田拓也会長（横田めぐみさんの弟）が強く北朝鮮を非難し、出席した岸田首相も「時間的制約のある拉致問題」と述べた。これはこの集會を注目しているはずの北朝鮮への強いメッセージとなるはずだ。

それを受け12月4日、私は参議院拉致問題特別委員会に立ち、岸田首相の言う「時間的制約」の意味について、「政府としては被害者の親世代がいなくなってきたからの帰国では、人道支援やその他の経済支援はない」という意味か」と、改めて松野官房長官、上川外相、そして工藤内閣

令和5年12月4日 参議院北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会の質疑の様子はこちらから(字幕付き)



令和5年12月1日 産経新聞

令和5年11月26日 全拉致被害者の即時一括帰国を求める国民大集会

昭和100年式典実施へ 自民有志が議連設立 昭和改元から2026(令和8)年で100周年を迎えるのを前に、自民党有志で作る「国による昭和100年記念式典実現を目指す議員連盟」が30日、国会内で設立総会を開いた。議連は来春に政府が式典実施の閣議決定をするよう求め、いく方針。野党各党にも呼びかけ、超党派として活動を展開する。この日、会長に就任した麻生太郎副総裁は総会で「昭和はわが国史上最も長い年号だ。式典の開催は激動と復興の昭和の時代を顧み、国の将来に思いを致す。そういう機会として日本の新しい平和と繁栄の出発点にしたい」と訴えた。

昨年11月30日に、「昭和100年記念式典を

「昭和100年記念式典実現議連」が発足

麻生元総理が会長、事務局長に山田宏

令和5年12月6日 参議院憲法審査会 質疑の様子はこちらから(字幕付き)



府副大臣(拉致問題担当)に確認し、「その通り」と工藤副大臣が答弁し、上川大臣も同意した。私の質問の意図は、国民大集会での横田会長の発言は政府としても同趣旨だと北朝鮮に確実に伝え北朝鮮の早期決断を促すことにある。厳しい冬を迎えて食料や燃料の不足や経済的困窮にあるとされる北朝鮮の決断が注視される。

憲法審査会は、早期に「自衛隊明記」の議論を!

憲法審査会で山田宏が意見表明

自衛隊は、国外では「軍隊」として扱われているが、国内では憲法上「通常の軍隊ではない」とされ、長い期間にわたり差別的扱いを受けてきた。

昨年12月6日、私は参議院憲法審査会で意見表明を行い「自衛隊が軍隊として、しっかりとその任務を遂行できるよう制度や待遇の整備が必要。そのためには自衛隊を憲法に明記し速やかに国家として自衛隊を承認すべき時だ」と述べた。

目指す議員連盟が発足し、会長に麻生太郎元総理、幹事長に森英介元法相、事務総長に加藤勝信前厚労相、そして私が事務局長に就任した。昭和は62年と14日続いたわが国の歴史上最も長い元号だ。そして平成19(2007)年には、昭和天皇のお誕生日であった4月29日が「昭和の日」と改められ、祝日法には「激動の日々を経て、復興を遂げた昭和の時代を顧み、国の将来に思いをいたす」と定められた。

そこで、令和8(2026)年に昭和改元100年を迎えるに当たり、政府主催の記念式典を開催し改めて「激動と復興の昭和を顧み、将来に思いをいたす」機会にしたいと考えている。

実は、元号として2番目に長い明治は昭和43(1968)年に改元100年を迎え、政府主催の明治百年記念式典が天皇后両陛下ご臨席のもと盛大に開催され、記念公園、記念図書館、記念博物館などの開設や「青年の船」事業の開始、記念切手発行などの記念事業が行われた。議連としては、今後政府に対し令和8年の昭和100年記念式典の開催を申し入れていく予定。



令和5年11月30日 昭和100年議連設立総会

山田宏(やまだひろし) プロフィール (2024.1現在) 参議院議員 自由民主党 副幹事長 朝日大学歯学部客員教授 昭和33年(1958年)1月8日生まれ。 京都大学法学部卒業。 松下政経塾第2期生。 東京都議会議員(2期)・ 衆議院議員(2期)・ 杉並区長(3期)

YouTube 320万回視聴されました! 山田宏 静まる成人式~『英霊の遺書』講演 杉並区長時代の まだの方はぜひご覧ください (8分・字幕付き)

「山田宏よい国後援会」にお入りください! 「世界に誇れる日本」を創るため、日々活動しております。 そのためには、皆様のご支援が必要です。ぜひ、ご入会いただき山田宏の活動をご支援いただけますようお願い申し上げます。

山田宏の日々の活動は、ホームページ、フェイスブック、ツイッター、YouTubeでご紹介しています 山田宏公式サイト: www.yamadahiroshi.com 山田宏公式Facebookページ: https://www.facebook.com/yamadahiroshi.page/ 山田宏公式ツイッター: @yamazogaikuzo 山田宏YouTube: https://www.youtube.com/user/YamadaHiroashiCom

公式サイト Facebook ツイッター YouTube

自由民主党に入党ください! 山田が支部長を務める「自由民主党東京都参議院比例区第二十二支部」を通し、黨員になってお支えください。 *満18歳以上、日本国籍を有する方が対象です。 *党費 年額4,000円(家族黨員は2,000円)